



当所、(一社)北見市観光協会などによる実行委員会の主催、市、市民の協力により実施された「がんばろう北見！」応援ホワイトイルミネーション



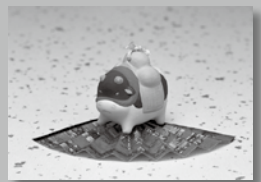
CONTENTS

- 舛川会頭新年のごあいさつ
- 丑年役員・議員抱負を語る
- 創立80周年記念式典開催
- 持続化補助金採択事例紹介
- セミナー抄録
- 中心商店街歩行量調査結果
- 青年部創立20周年記念事業計画

寄り添い、困難や変化に迅速に対応し、地域の活性化へ



新年のびもぐわひ 北見商工会議所会頭 舂川 誠



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃より商工会議所運営と事業活動にご理解ご協力を賜っております事にお礼申し上げます。

さて、会員事業所の皆様におかれましては、昨年はコロナに翻弄され、その対応に明け暮れた一年であったことと存じます。特に年末からの感染再拡大に伴い、北海道より道民に対ししても外出等の自粛要請が出されたことから、より一層ご苦労されておりますことに、私も同じ経営者として心を痛めております。

そうした中、当所では昨年11月19日に、創立80周年記念式典をコロナ禍の中ではありましたが、関係各位の皆様にご臨席、ご参加賜り無事挙行できましたことに、先ずは衷心より御礼申し上げます。

昭和15年11月19日に野付牛商工会議所として設立認可された長い歴史、そして今日まで歴代会頭・副会頭・役員議員・会員の皆様

が築かれてきた伝統を継承し、新型コロナウイルス感染症を乗り越え、オホーツク・北見の地域経済の発展に貢献して参る所存でございますので、皆様方より一層のご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

また、創立80周年記念式典に合わせて「がんばろう北見」を合言葉に、コロナによる地域の閉塞感を払拭するため小公園全面にイルミネーションを装飾いたしました。

これまでに北見市民はもとより、多くの地域内外の方々を訪れていたと共に関心医療従事者の皆様方からも感謝の言葉をいただいております。イルミネーション装飾にご協賛・ご協力いただきました会員企業の皆様並びに多くの市民の皆様、そして実行委員の皆様改めて感謝申し上げます。

しかしながら、例年1月4日に開催いたしました【新年交礼会】は、年末からの感染再拡大に伴い、北海道より事業者に対しまして、年末年始の飲食及び挨拶回りなどについて自粛要請が出されたことから、地域経済のけん引役である商工会議所といたしましては、参加者の皆様の安全を考慮し苦渋の決断ではありましたが、中止とさせていただきます。

本来であれば、各界を代表される多くの皆様と共に輝かしい新年をお祝いするところでありましたが、残念でなりません。

この様に、日本経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により2008年のリーマンショック後を超える過去最大の減速となり、取り分けホテル・飲食店・観光・物販などが直撃され深刻な状況となりましたが、どうみん割りとG・O・T・Oトラベルなどの支援策により一時回復傾向に向かって

いたものの昨年末からの感染再拡大により、再度自粛要請が出され、一段と厳しい状況が続いており、その影響は全業種に波及いたしております。

今回のコロナ禍では、地域経済のみならず市民生活にも様々な影響を及ぼし、特に不確かな情報の拡散による感染者や医療従事者に対する非難や差別など市民相互に不協和音を引き起すと言った残念な光景もありました。我々も正しい知識・情報に基づき思いやりの気持ちをもった冷静な行動をとることが肝要であると考えます。

コロナに翻弄されたこの一年、中小・小規模事業者の多くは、需要の蒸発というこれまで経験したことのない事態に見舞われ、厳しい経営環境下に置かれました。

当所では、いち早く小規模事業者経営改善資金融資制度に対する利子補給制度を創設、各種制度融資や支援金・給付金・助成金の申請手続き、並びに専門家による相談窓口を設置し、事業者に寄り添った経営支援を実施して参りました。

さらに、本年度より2期目となる「経営発達支援計画」の国の認定を受け、「事業者の経営力・競争力強化に向けた事業計画作成支援と人材の育成」、「事業者数の減少防止に向けた事業承継・新規創業支援」、「労働力確保事業の推進」、「地域資源の活用と観光の推進による交流人口の拡大」を柱に、小規模事業者に対する伴走型経営支援を実施いたしております。

コロナ禍で不確実性が高まっている中、私共が生き抜いていくためには、変化に迅速に対応する柔軟性が不可欠であります。その際に大事な視点は、「変えるべき

もの」は積極的に変える、と同時に「残すべきもの」はしっかりと守り受け継いでいくことであり、次の2つの具体的視点が重要であります。

その1点目は「デジタル」と「リアル」です。コロナ禍でテレワークなどを体験しデジタル化・効率化の有用性を実感しましたが、同時にリアルな体験や対面でのコミュニケーションの重要性にも気づいたことと思います。

2点目は「分散」と「集中」です。これまで、様々な施策を講じて止められなかった大都市圏への人口集中、過度に集中するリスク・コストの大きさに気づかされたことと思います。地方への居住の関心が高まっていることから、地方創生を推進する上で好機であると考えます。

こうしたことから、企業の活力を高めていくことが極めて重要となることから、コロナ禍における事業承継、販路開拓、新事業展開等にチャレンジする経営者への後押しなど、「環境の変化への柔軟な対応支援」とICTの導入・活用による効率化を進める「生産性向上へのデジタル支援」を強化して参ります。

そして、ますます深刻になることが予測される「人手不足対策」においては、オホーツク商工会議所協議会として、産学官連携によるオホーツク合同企業セミナー・説明会やUIJターン相談会等を開催すると共に、都市圏に在住している方々に対して地元の情報提供を積極的に発信し、企業への「稼ぐ力」、「稼ぎ手」の増加を図るために、域内循環を高め地域に根差す中小・小規模事業者の発展に繋げて参ります。

また、近年台風や地震など気候変動に伴う自然災害が頻発し、事業継続が危ぶまれるケースが増加しております。さらに今回の新型コロナウイルスなど想定外の出来事が発生し、日頃から事業継続に向けた備え



「パラボ」の切り盛りが課題

永田正記さん(昭和24年生まれ)〈顧問・常議員/永田製鉛(株)取締役会長〉

コロナ禍、市庁舎機能移転後のまちきた大通ビル(パラボ)の切り盛りが課題。会長を務める北見丑年会の集会はコロナ禍により未定ですが、何かを考えたい。健康の秘訣は、例年60～70回、プレーしているゴルフ。会議所とりきり戦で勝利、北見ロータリークラブでもとりきり戦で2年連続優勝。今年も例年同様でできればと思っています。

カーリング「社技」に三十数年 羽ばたけ世界へ 佐々木敏行さん(昭和24年生まれ)〈議員/河西建設(株)代表取締役会長〉

創業以来、皆様の生活を支える「道づくり」一筋に一昨年、創立40周年。三十数年前からカーリングを「社技」に取り組んできました。市内2箇所目の公設カーリング場開設を機会にカーラーが増え多くの市民が世界に羽ばたくこと、観光振興に役立つことを期待。今後も地域社会に貢献できる会社を目指すとともに魅力ある職場づくりを推進します。

「焼肉」で北見を元気に

坂口政義さん(昭和36年生まれ)〈常議員/焼肉店代表取締役社長〉

「北見焼肉」を全国に販売・発信。安心・安全に基づいた焼肉のタレも開発・販売。荒利益向上により企業価値の向上、「QSC」の向上と社員教育の底上げを図りたい。これらを通じて、「新価値創造企業」を目指します。北見商工会議所では、中小企業委員会を通して個性ある中小企業の発展に寄与していきたい。

コロナ乗り越え地域に貢献

嵯峨孝一さん(昭和36年生まれ)〈議員/水元建設(株)代表取締役〉

当社は昭和30年に起業し今年66年目に突入します。公共事業一筋、地域のインフラ整備等に関わってきました。今まで体験したことがない災害に匹敵する新型コロナへの対応のまただ中にありますが、社員・従業員と力を合わせ、この苦難を乗り越え、雇用の存続、地域に貢献できる企業の持続に努めて参ります。

技術力の向上・伝承、組織力強化

中神 拓さん(昭和36年生まれ)〈議員/中神土木設計事務所代表取締役〉

社長就任2年目。「三方よし」の精神で市民の皆さまに使い勝手の良い社会基盤整備を意識し貢献していきたい。技術力を向上・伝承し、組織力を強化するとともに、顧客至上主義を全社員に浸透させたい。働き方改革、社内環境の改善を進め、働きやすい会社を目指す。

商工会議所での活動が魅力あるまちづくりの一助となるよう努めます。

コロナ禍のピンチをチャンスに

佐々木雄一さん(昭和48年生まれ)〈議員/大幸建設(株)代表取締役社長〉

コロナ禍のピンチの裏にあるチャンスをしっかりとつかみ、建設業の枠にとらわれず、新たな連携で社会基盤として真に価値の高い建築に挑戦することで、棄損された地域経済の復興に少しでも貢献し、より地域に愛される会社を目指します。また、働き方改革に引き続き取り組み、より遣り甲斐を持って働ける幸福度の高い会社を目指します。

が必要となることから、積雪寒冷地特有の課題も踏まえ、その対策や行動指針の作成などBCPの策定を後押しし、安心・安全な事業継続に向けた取り組みを支援して参ります。

北見市の都市再生事業につきましては、北見赤十字病院を中心とした高度医療エリアと、4日に開庁した新市庁舎、コミュニケーションプラザパラボ、バスターミナルなど、北見駅周辺エリアの完成をもって2拠点の整備が完了し、残すは両エリアを結ぶ中央大通り沿道の民間主導による1軸整備となっております。

中央大通り沿道の整備につきましては、北見市による市街地再生計画の策定により、その整備方針にある【中央大通り沿道の緑豊かな歩行者空間の創出】、【交流空間とし

てのポケットパークの設置】、【施設を活用した、誰もが利用できる歩行者動線の確保】など、その方針に則り民間開発事業者において事業計画の策定中にあります。

本年は、この事業計画に基づき、北見市を通じて国へ交付金の概算要望の提出を行い、併せて法定市街地再開発事業として認可を受けるべく手続きを予定しており、いよいよ事業着手に向け動き出すものと存じます。

当所におきましても、この再開発事業により、まちなか居住推進による賑わい創出そして、それに伴う中心市街地への波及効果など、市のまちづくり計画に大きく資する事業であることから、事業実現に向け積極的に協力して参りたいと考えておりますので、関係機関の皆様のご協力をお願い申

し上げます。

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない厳しい状況が続いておりますが、商工会議所は地域における唯一の総合経済団体として、どんなに厳しい困難な時代にあっても、日本商工会議所、北海道商工会議所連合会、そして全国515商工会議所のネットワークを活かし、地域の経営者の皆様に寄り添い、企業の成長を後押しすると共に行政・各関係機関と連携し地域経済の活性化に向け全力で取り組んで参りますので、皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一日も早くコロナ禍を乗り越え、皆様にとりまして実り多い一年になります事をご祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

みずみずしい明日へ。

MARUKITA

北見地方卸売市場

株式会社マルキタ

代表取締役社長 宇野直行

〒099-0878 北見市東相内町39番地1
TEL(代)0157-36-2111 FAX0157-36-3866

MK
MURAI KOZUMI

村井小泉建設株式会社

本店 〒090-0834 北見市とん田西町212番地7
TEL(0157)23-2535 FAX(0157)22-4354

本社(設備部) 〒090-1587 北見市豊地69番地7
TEL(0157)36-8120 FAX(0157)36-8121

きたせき

北見石油販売株式会社

代表取締役 原谷真人

〒090-0834 北見市とん田西町378番地2
電話(0157) 33-3833

http://www.kitaseki.com/
E-mail:info@kitaseki.com

創立80周年記念式典

節目祝い、一層の発展誓う

北見商工会議所の創立80周年記念式典が11月19日、ホテル黒部で開かれ、舛川誠会頭の式辞、北見市の商工業の発展に貢献した永年経営継続会員事業所表彰、来賓祝辞などで節目を祝うとともに、一層の発展を誓い合いました。

周年行事は、平成22年の創立70周年記念事業に続くもの。コロナ禍の中、80周年記念事業は同式典に絞り込み、規模の縮小、時間短縮など感染症対策を講じて開催。同式典には地元選出議員、関係官庁、道内各地の商工会議所役員ら来賓、表彰対象事業所代表者、役員・議員ら110人が出席しました。

舛川会頭は式辞の中で、「本日の80周年を新たな出発として、管内自治体や関係団体との連携を強化し、どんなに困難な時代にあっても商工会議所の機能を積極的に発揮し、北見市・地域経済の発展に寄与して参



式辞を述べる舛川会頭



特別功労者表彰を受ける永田前会頭

りたい」と今後の抱負を述べました。また、コロナ禍の厳しい経営環境への懸念や意識改革の必要性を説くとともに、より一層のきめ細かな経営支援に取り組み考えを表明。地権者として参画している中央大通り沿道地区の整備（民間不動産開発業者が計画策定中）について、「昭和のかつての賑わいを知る私たち世代で成し遂げなければならない」と意欲を示しました。

永田前会頭を特別表彰

このあと、特別功労者表彰の永田正記前会頭（4期・平19〈令元〉）、永年経営継続会員事業所表彰の10

0年以上の10社、40年〜90年以上表彰の66社の代表6社に舛川会頭から表彰楯が贈られました。

続いて、来賓の武部新衆議院議員（代理）、安藤保彦北海道経済産業局長（同）、鈴木直道知事（同）、辻直孝北見市長、岩田圭剛北海道商工会議所連合会会頭（代理）が登場し祝辞を述べました。辻市長は、80年の節目を祝福するとともに、「今後も地域経済団体の中核的な役割を担い、けん引役として地域経済の発展のため、これまで以上のお力添えを」と当所の役割発揮に期待を寄せています。（担当 総務部）



永年経営継続表彰を受ける会員事業所

オホーツクのおいしさ、ぎゅっと。

LOVE CANDY
LOVE HOKKAIDO

ながたあめ

永田製菓株式会社

いつもご利用いただきありがとうございます

北見冷蔵株式会社

北見市川東283番地2
TEL (0157) 24-8711(代)
FAX (0157) 24-1553

空港でのお買い物は

村一番

日本一・北見玉ねぎ
日本一・オホーツク海の鮭
日本一・原生花園のハマナス

女満別空港店 ☎(01527) 4-3715

特定建設業

岡村建設株式会社

OKAMURA

取締役会長 岡村 叶夫
代表取締役社長 岡村 金司

北見市北1条東5丁目
☎(0157)24-3165(代) FAX24-1555

〈知財に関する無料相談会〉

次回は1月28日 要予約

当所とINPIT（独立行政法人工業所有権情報・研修館）北海道知財総合支援窓口共催の「知財に関する無料相談会」が11月26日、北見経済センターで開かれ、特許に関する相談1件がありました。次回は1月28日（要予約）。お気軽にご相談ください。

（担当 古川 佳佑）

〈企業経営に係る相談窓口〉

オホーツク産学官融合センター

当所が運営するオホーツク産学官融合センター（柏陽町・北見工大社会連携推進センター1階）では、窓口相談や専門家による相談、併設の北海道知財総合支援窓口北見サテライト（テレビ会議システム）による特許・商標など知的財産に関わる相談に応じています。

また、移動個別相談会を毎週水曜日、北見経済センターで行っています（予約制）。各種相談は無料。お問い合わせは同センター（TEL 57-5677）へ。

（担当 池田 嘉孝）

北海道中小企業総合支援センター

当所内に設置されている公益財団法人北海道中小企業総合支援センターオホーツク支部では、職員3名（うち2名非常勤）体制で中小企業・小規模事業者のさまざまな経営課題に係る相談に応じています（無料）。

お問い合わせは同オホーツク支部（TEL 31-1123）へ。

夜の小公園を点灯

がんばろう北見！

ホワイトイルミネーション

小公園の夜が11月19日から1月11日まで、青、白、ピンクのLEDライト5万7200個で彩られ、大勢の市民の心を和ませました。

新型コロナウイルス感染症の影響による閉塞感を払拭し北見を盛り上げるとともに、医療従事者への感謝を込めて、（一社）北見市観光協会、北見ぼんちまつり実行委員会、当所が実行委員会（委員長 河合昭徳北見ぼんちまつり実行委員長）を立ち上げ、「がんばろう北見！応援ホワイトイルミネーション事業」として企画。北見市の後援も得ました。運営費は、実行委員会各団体からの拠出ほか、市民にも協力を呼びかけ、135社、48個人から多額の寄付が寄せられました。点灯式で、舩川誠会頭、河合昭徳実行委員長、辻



河合実行委員長、舩川会頭ら5人による点灯

好治北見市観光協会代表理事、辻直孝市長、高橋克博議長が点灯ボタンを押すと雨のぼらつく小公園の夕景がきらめく光景に一変。同式に集まった関係者や道行く市民から歓声が上がりました。（担当 後藤 達哉）

オホーツクの市町村を
日本で一番健康に！

あなたの未来を強くする

 住友生命

住友生命保険相互会社 北見支社
〒090-0040
北見市大通西4-4-1 住友生命北見ビル2F
TEL:0157-24-8032

 株式会社 小柳中央堂

<http://www.koyanagi-net.co.jp/>

〒090-0056
北見市御町1丁目5番地1
☎:0157(36)7111(代)
FAX:0157(36)7333

北見の「食」を元気に、豊かに、そして美味しく

回転寿し
トリトン
TORITON 

三輪店 北見市東三輪4丁目12番地
夕陽ヶ丘店 北見市美芳町2丁目5番1
遠軽店 遠軽町大通り北7丁目80



「持続化補助金」(コロナ特別対応型)採択事例 (株)尾崎鮮魚店

真空包装機導入し「真空パック」に活路

北見市北4条西3丁目の(株)尾崎鮮魚店(渡邊力社長)は、「小規模事業者持続化補助金」(コロナ特別対応型)の採択を受け、真空包装機を導入しました。

昭和42年に創業した同社は魚を生けす保管、活締め、血抜き技術により商品化し主として市内のホテルや飲食店などを顧客に卸しています。

コロナ禍の中、業務用鮮魚の需要不安定化を受けて対応を検討し、真空



店舗に設置された真空包装機

包装の新鮮さの長期保持、小分けが可能、輸送・保管に適するなどのメリットに着目しました。

導入したのは、(株)TOSEI(トーセイ)の真空包装機V930DL据置型、約170万円(持続化補助金100万円)。タッチパネルによる操作で、最大サケなど大型魚が1尾丸ごと処理できるサイズ。

同真空包装機を10月中旬から稼働させ、さまざまな魚種や大小の切り身などで試行を重ね、すでに商品化に着手。看板商品の鮮魚に、真空包装の冷凍魚が加わり、4代目社長の渡邊力さん(41)は、「顧客の皆さんにいろいろ提案ができるように

なりました。コロナ禍の厳しい経営環境にありますが、心に余裕ができました」。

長年つきあいがある地元顧客を第一に真空包装の冷凍魚を含めた自社ブランドづくりを力を入れる方針。食品加工の免許も取得し、調理済み「真空パック魚」も検討しています。

また、年末の海鮮ギフトの実績に加え市のふるさと納税返納品の反響も踏まえ、「北見市常呂、オホーツクの魚介類のおいしさを多くの人に味わってもらいたい」と話しています。

コロナ禍の「ピンチ」が現状を分析し、将来を展望するきっかけに。持続化補助金の申請(事業計画作成)が、その具体化、「チャンス」への気づきとなったようです。

(担当 宮本 喜幸)

持続化補助金「コロナ特別対応型」第4回審査結果は2月上旬

令和2年度補正予算・小規模事業者持続化補助金「コロナ特別対応型」第4回受付分(10/2締め切り)の審査結果(採択)発表が2月上旬頃に延期されました(当初12月上旬予定)。「一般型」第3回は1月下旬、「コロナ特別対応型」第5回(12/10締め切り、当所申請分6件)は2月にそれぞれ結果発表の予定です。

(担当 地域振興部)

 **株式会社舟山組**

代表取締役社長 二本松 雅行
代表取締役副社長 舟山 亮真

北見市寿町6丁目3番4号
TEL(0157)23-5070 FAX(0157)31-6238
www.funayamagumi.co.jp



これまでも、これからも、地域とともに。



北見しんきん



試薬・臨床検査機器試薬・分析機器 販売
科学機器・理化学機械器具・工業薬品

大槻理化学株式会社

〒090-0056 北見市卸町1丁目6番地2
TEL(0157)36-7211 FAX(0157)36-6589
http://www.ohtsuki-r.co.jp

北見営業部 釧路営業部 帯広営業部

人と人との出会いを大切に…



KKK 総合デザイン企画・確かな技術で印刷
有限会社 **サンケイプリント社**
北見市常盤町1丁目5番35号
TEL(0157)23-3018 FAX24-5085
E-mail:kkk@sankeip.co.jp http://www.sankeip.co.jp

お菓子に文化と真心を添えて

菓子屋 **大丸**

本店/北見市北2条西2丁目
電話 24-2816
パラポ店/まちきた大通ビル地下
電話 31-5268

ARCS GROUP

株式会社 **道東アークス**

〒090-0056 北見市卸町3-3-3
TEL.0157-36-5121

SUPER ARCS Fresh Discounting Everyday.
BigHouse ビッグハウス

RALSE ラルススマート **FOOD MASTER BASIC**

フクハラ **FIRST** ファースト

ハーモニックカンパニー



ISO9001認証取得
ISO14001認証取得

— 開発に開拓の心を —

北辰土建株式会社

代表取締役会長 鴨下 泰久
代表取締役社長 鴨下 辰哉

〒090-0030 北海道北見市北10条東4丁目1番地
TEL (0157)24-8624(代) FAX (0157)61-2097
http://www.hokushindoken.co.jp
E-mail:hokushin@cocoa.ocn.ne.jp

「飲食店向け」 新型コロナウイルス感染症対策関連 緊急個別相談会

新型コロナウイルスの再感染拡大により、厳しい状況が続く飲食店向けに、12月の24・25日の2日間、緊急の個別相談会を実施しました。春の個別相談会に次ぐものです。

2日間で9件の相談があり、家賃支援給付金に関するものが5件、持続化給付金2件、経営全般1件、道支援金1件でした。

専門家によるコロナ対策個別相談窓口 12月まで45日間に利用170件

当所が7月から開設した新型コロナウイルス感染症対応のための専門家による個別相談窓口(無料)は12月下旬で終了しました。

この間の相談日は、週2日(1日4件)、月4日から9日、合わせて45日間に170件の利用がありました。

専門相談員(社会保険労務士、中小企業診断士・藤田貴史さん)が受けた相談は、国の家賃支援給付金(電子申請)、小規模事業者持続化補助金(持続化補助金)に関するものをはじめ、道の支援金、国の持続化給付金など。遠隔地、来所が難しい場合は、巡回、リモートによる相談にも対応しました。

(担当 後藤 達哉)

コロナ対策、同一労働同一賃金など「働き方改革」 相談会 1・2月に開催

中小企業にも4月から適用される「同一労働同一賃金制度」など「働き方改革」に関する相談会を1月15・21、2月12・25日に実施します。

相談は無料、会場は北見経済センター、事前予約制で申し込みは地域振興部(TEL23-4111)へ。(担当 地域振興部)

北見市から当所・会員事業所に 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する要請

北見市から新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に関する要請が11月19日、当所にありました。道内での同感染症の拡大、市内飲食店での集団感染の発生を受けたもので、同日、当所を訪れた辻直孝市長から舩川誠会頭が要請書を受け取りました。

要請では、会員事業所における業種別ガイドラインの遵守、「新北海道スタイル」の実践徹底への協力を呼びかけています。

「新北海道スタイル」は、新型コロナウイルスとの闘いが長期化する中、国が示した「新しい生活様式」の道内での実践に向けた、新しいライフスタイルやビジネススタイル。事業者に対して、①従業員のマスク着用や手洗い、②こまめな換気、③店内の消毒・洗浄、④客同士の一定の距離確保一などを求めているものです。





2組のカップル誕生



13回目のきたみde婚カツ コロナ対応で定員男女各10人

「やった」「まさか」の婚カツ・カップル ゴールイン

一昨年12月の「きたみde婚カツ」でカップルとなった1組が昨年11月に入籍しました。そのカップルは、ともに北見市内に居住する僧侶のご主人(40)とグラフィックデザイナーの奥さん(35)＝写真＝。

婚カツでの相手の第一印象について、ご主人は「話しやすそうな女性」、奥さんは「見た目がこわい。堅物そう」。婚カツを終えたご主人の感想は「やった」。というのも3度目の婚カツ。今回は第一印象で意中の人(現在の奥さん)を決めアタックするも「告白カード」では「両思い」にならず、参加者を前にした「大舞台」の最後の「告白タイム」でカップルになったからです。

一方、奥さんは「まさか」。父親から婚カツ情報を教えてもらい、「そんなに考えず初参加したんです」。婚カツで出会ってから1年足らず。「結婚までのスピード感がすごかった」との感想の一方、「頼もしさを感じました」とも。

ご兩人とも「いずれは結婚…」との思いを持ち交際を継続。結婚の決め手は「相性が良かった」「価値観が近い」こと。婚カツの1対1のPRトークの初の話題は共通の趣味の「将棋」(奥さんは「観る将」＝観戦)。さらにご主人は「ドラムの演奏」、奥さんは「音楽鑑賞」と趣味の分野が重なりました。



コロナ禍の中、挙式・披露宴は未定ですが、2人の新婚生活はすでにスタート。現在は仕事を休止し専業主婦の奥さん。理想の家庭像について、『「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言いあえる家庭』と話し、ご主人と目を合わせました。

(担当 古川佳佑)

当所・きたみde街コン実行委員会の主催による13回目となる「きたみde婚カツ」(婚活事業)が12月5日、ホテル黒部で行われました。写真。独身者の出会いの場の提供と定住促進を目的にした同事業は、平成25年からスタートし、これまで9組が成婚に至っています。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策として募集定数を男女各10人に半減。申し込みは男女それぞれ定員を上回りました。アクリルパーテーションを設置した会場で、飲食抜きの間短縮の運営。マスクやマウスシールドを付けた男女20人(27〜39歳)が1対1のPRトークに続き、小グループ・1対1のフリートークにより交流。最後の「告白タイム」により、2組のカップルが誕生しました。

(担当 武田卓)

オホーツクの元気を応援する 一中小機構一

中小機構の主な支援メニュー

- ・ 専門家無料経営相談 (第1・第3木曜日)
- ・ 専門家の長期派遣 (経営課題を根本から解決)
- ・ 地域の特徴を活かした新商品や新サービスの開発
- ・ 海外展開 (現地視察、商談、計画のブラッシュアップなど)
- ・ 小規模企業共済 (経営者の退職金制度)
- ・ 経営セーフティ共済 (連鎖倒産防止制度)
- ・ 人材育成 (中小企業大学校 旭川校)

中小企業の元気は、地域の元気!

独立行政法人

**中小企業基盤整備機構 北海道本部
北見オフィス**

〒090-0013 北見市柏陽町603-2
北見工業大学社会連携推進センター 1階
TEL 0157(57)5677 FAX 0157(57)5688
担当/小澤



セミナー・講習会 抄録

「創業実践セミナー」が11月4・5の両日、北見経済センターで実施されました。



当所中小企業相談所、オホーツク産学官融合センター、市の主催・共催。本年度は定員を10人に減らし新型コロナウイルスに対応。

受講者3人が中小企業診断士の原口勝全さん（帯広市）から創業の心構えやビジネスモデルを学習。さらに最近増えているキッチンカーの事業計画づくりで創業の具体化に理解を深めました。

また、当所、同センター主催・共催の「創業入門セミナー」が12月17

日、起業家の鹿又百合子さん（北見市）を講師に北見経済センターで実施されました。（担当 池田嘉孝）

同相談所、（公社）北見地方法人会北見支部など主催の「複式簿記講習会（決算編）」が11月17日から3日間、北見経済センターで開かれました。例年の2倍ほど、定員を上回る23人が受講。税理士の江澤昭さんから青色申告会のテキストをもとに決算までの流れを、演習を交えて学びました。

（担当 古川佳佐）



～安全と信頼を地域へ～

INTER KEIBI HOSHO

INTEGRITY × KINDNESS × HAPPINESS

施設警備／巡回警備
交通誘導警備／駐車場警備／イベント警備

インター警備保障有限会社

〒090-0813 北見市中ノ島町4丁目1番30号
TEL:0157-32-9800/FAX:0157-32-9801
E-mail:inter.keibi.hosho@gmail.com
URL : http://interkeibi.xsrv.jp/

税理士法人
中央総合会計北見

税理士 井内 敏 樹
税理士 西村 純 一
税理士 佐藤 良 一

北見市北3条東2丁目
電話(0157)24-8866
FAX(0157)24-6108

野菜のタネと資材

株式会社 サン園芸

代表取締役社長 戸田 龍 一
北見市東相内町121-8
TEL(0157)36-3358 FAX(0157)36-8379

北見市中ノ島町1-1-8 JAきたみらい内
ガータニングハウス 四季倶楽部
TEL(0157)57-1087 FAX(0157)57-1086

60th ANNIVERSARY おホーツク圏に精通する地域経済の情報企業
おかげさまで創業60周年

TOA

■管内経済情報誌発行 ■企業信用調査
■データサービス

株式会社 東亜リサーチ

〒090-0817 北見市常盤町3丁目16番42号
Tel(0157)23-6288/fax(0157)24-1033
URL:http://www.toa-research.co.jp
E-mail:info@toa-research.co.jp

令和2年の中心商店街の通行量 前年を上回るも過去2番目に少ない 「用務」増え、「買物」減る

■令和2年度歩行者通行量動態調査結果

[10月9(金)～11日(日)、中心商店街5カ所・1日10回調査]

3日間(金・晴れ、土・晴れ、日・晴れのち曇り)の通行量は、前年比12.4%増の5,018人となりましたが、過去最少の前年に次ぐ少なさで、平成5年と比べ、4分の1ほどに減っています。

街路別にみると、大通り1,607人(前年比23.0%増)、銀座通り1,146人(同27.8%増)、二番街1,063人(同7.8%増)、中央通り740人(同0.4%増)、一番街462人(同13.8%減)と、4街路、特に銀座通りと大通りの増加が目立ちます。各日とも大通りが700人台(金)、400人台(土・日)で最も多く、次いで銀座通り(金・日)、二条通り(土)の200・300人台となっています。

客層別では、「用務」51.2%(前年42.3%)、「買物」31.7%(同42.6%)、「通学」11.1%(同8.2%)、「通勤」5.9%(同6.9%)。昨年の「買物」・「用務」の順位が逆転しました。

年齢層別では、高齢層36.9%(前年32.6%)、中年層32.8%(同42.0%)、若年層30.4%(同25.3%)。動態別では、単身が9割近く(88.6%)を占め、友だち連れ(6.0%)、親子連れ(2.9%)、カップル(2.5%)は少なくなっています。

曜日別では、金・土・日と通行量は減る傾向には変わりありませんが、金曜日2,216人(前年比36.0%増)、土曜日1,532人(同13.3%増)、日曜日1,270人(同14.3%減)と、前年と比べ、日曜日だけが減っています。詳しくは、当所ホームページをご覧ください。

(担当 武田 卓)

部会・委員会の開催状況

「同一労働同一賃金制度」など学び、今後の活動確認

理財・工業合同部会（11/13）で

は、令和3年4月から中小企業者にも適用される「同一労働同一賃金制度」（講師 社会保険労務士・中小企業診断士の藤田貴史さん、以下同）について、実例を交えて説明を受けたほか、今後の部会活動の進め方などを確認しました。

運輸車輛部会（12/1）では、

「同一労働同一賃金制度」について実例を交えて学んだほか、本年度の部会活動計画の進捗状況を確認しました。

商業部会（12/1）では、「同一労働同一賃金制度」の概要や対応に

ついて学んだ他、新年度部会事業計画の作成に向けた今後の部会活動（1月正副部会長会議、2月部会）を確認しました。

サービス業部会（12/8）では、

「同一労働同一賃金制度」に理解を深めたほか、今後の部会活動を協議。1月の部会（新年度事業計画立案）にあわせ新春講演会を開催することとしました。

中小企業委員会（11/25）では、

公正取引委員会事務局北海道事務所の島袋功一所长と蝦名皓樹下請取引調査官を招き、最近の同委員会の活動や違反事例、下請取引の公正

化・下請事業者の利益保護を目的とする「下請法」（下請代金支払遅延等防止法）の概要を学ぶとともに意見交換を行いました。



サービス業部会

〈女性会〉11月例会

北見市の完成した新庁舎を視察

女性会の11月例会が6日、28人の出席により開かれました。報告事項（正副会長、部会など）に係る会議をホテル黒部で行ったあと、1月上旬の業務開始を前に、北見市の新庁舎（9月完成）を視察しました。



新庁舎では、北見市の新庁舎整備推進室の山本室長と都市建設部の酒井主幹の案内で、窓口サービスを集約した1・2階、市長室を配した4階、6階の市議会議場などを巡り説明を受けました。

この視察を通じて、新庁舎を契機とした市政の一層の推進、中心街の活性化に思いをはせていたようです。

（担当 池亀 由基）

〈青年部〉12月例会はWEB

臨時総会で20周年事業計画承認

青年部の臨時総会が12月15日、Web形態で開かれ、令和3年度に延期された創立20周年事業計画が承認されました。

「躍動」を20周年のテーマに掲げ、周年事業として、記念式典・祝賀会（6/26、市民スケートリンク）、記念誌の発行、記念事業として北見市へ観光振興モニユメントの寄贈を計画。

式典では歩みを振り返り歴代会長を表彰するほか、一層の発展を誓い合うこととしています。

12月例会（8日）は、会員が集う忘年会を兼ねて予定されていましたが、新型コロナウイルス拡大に配慮してWEB形態に変更し、最新の感染症予防対策を学びました。

（担当 武田 卓）

退職金の準備を中小機構がお手伝いします

安心安全 国がつくった

小規模企業共済

こんな悩みにお応えします

年金だけでは不十分で、不安がある

自分で積み増すには、どんなものがあるの？

～24時間・365日お問い合わせ可能になりました～

加入資格・手続きについてのご質問をチャットでご回答いたします。詳しくは右記のQRコード又はホームページからご確認ください。

小規模共済

検索

加入・掛金のご質問は
こちらをクリック
24時間いつでも
チャットで質問可能です
小規模企業共済



制度の特長

1 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

契約者貸付けの利用が可能
契約者（一定の資格者）の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。

2 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

他にもこんな特徴があります。

共済金の受給権は差押禁止
共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

Be a Great Small.
中小機構



新年交礼会中止のお詫び

当所は1月4日に予定していた令和3年新年交礼会について、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う北海道の事業所に対する要請（飲食・年末年始のあいさつ回りの自粛）を踏まえ、12月11日に中止を決定しました。地域経済のけん引役である当所としては参加者の安全を考慮し、苦渋の決断ではあります。大変ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。
(担当 総務部)

共済・福祉 キャンペーンのお礼

当所の昨年の「秋の共済・福祉制度キャンペーン」に対する会員事業所の皆様のご協力にお礼を申し上げます。

同キャンペーン終了後も会員皆様の福利厚生の上昇、経営安定のため、同制度の推進を図って参りますので、よろしくお願ひ申し上げます。
(担当 総務部)

青色申告会

「記帳・税務指導」

1月中旬から北見経済センター
北見青色申告会では、令和2年分確定申告期にあわせ記帳・税務指導を1月中旬から北見経済センターで

■合同会社アロイフーズ

(相馬淳二さん、緑町1丁目6-10、弁当の製造・オードブル等の販売)

■SÖL

(沼田ちはるさん、光葉町26-6、婦人・紳士衣料品・生活雑貨販売とカフェスペースの複合店舗)

■あくつ整骨院

(阿久津悟さん、田端町32-24、柔道整復業)

■エムエス保険工房

(岡本文雄さん、高栄西町9丁目1-22、保険代理店)

■谷口電工(株)

(谷口高啓さん、留辺蘂町泉355-4、とび・土木工事・電気工事・電気通信工事)

ご入会ありがとうございます

新入会員紹介

(入会日 令和2年10/20、12/19)

実施します。

日程は、1月12・25日、2月12・24日、3月(未定)に予定しています。時間はいずれも午前10時から午後4時まで。ご希望の方は帳簿などをご持参ください。

同会の会員、一般個人事業者を対象に例年行っている同指導。同会の記帳協力員と、当所の経営指導員・補助員が相談に応じています。

市内2カ所目の「カーリングホール」オープン 北見の活性化・PRの起爆材に



「アルゴグラフィックス北見カーリングホール」が10月31日、北見工大に隣接する柏陽町に開設されました。市内中心部に近いことから市民利用、来北者の体験観光ができることから、北見の活性化・PRの起爆剤になることが期待されています。

カーリングを活用した地方創生の推進とともに、ジュニアの

育成や競技のさらなる普及・発展を目指し、北見市が市内2カ所目(全国初)の通年営業のカーリング専用施設として建設(事業費約13億円)、(一社)カーリング北見が指定管理者として管理・運営。鉄筋コンクリート一部鉄骨平屋建て、延べ床面積約1,750㎡。3シートで、北見工業大学と連携した競技力向上支援システムを備えました。「アルゴグラフィックス」は命名権を取得した東京のIT企業名。

一方、北見市は10月、「河西建設カーリングホール」のリンク造成を休止した河西建設(株)に、カーリング界での長年の貢献をたたえる感謝状を贈りました。

住まいと心の豊かさを求めて



株式会社 長谷川建材

〒090-0020 北見市大通り東8丁目14-1

家具・インテリア事業部  Isega

〒090-0043 北見市北3条西1丁目1番地

安全・安心なお米を食卓へ

営業品目

米穀・配合飼料・損害保険・火災共済
燃料・食料品・酒類・たばこ

株式会社 **ほくべい**

本社 / 北見市北3条西1丁目 TEL(0157)23-7301(代)

本社営業課 / 北見市北3条西1丁目 TEL(0157)23-7308

紋別支店 / 紋別市渚滑町2丁目21番1号 TEL(0158)23-2147

遠軽支店 / 遠軽町大通北9丁目1-25 TEL(0158)42-2103

網走支店 / 網走市新町3丁目6-26 TEL(0152)43-4335

ホームページ <http://www.hokubei.co.jp>

 株式会社 安全

ANZEN GROUP

〒090-0835 北見市光西町172

TEL 0157-24-4030

FAX 0157-24-5272

ガラス事業部

TEL 0157-24-4030 FAX 0157-24-5272

チーゼル事業部

TEL 0157-24-5296 FAX 0157-24-5272

塗料事業部

TEL 0157-24-6868 FAX 0157-23-6157

介護レンタル事業部  介護の  ほんやく

TEL 0157-26-4125 FAX 0157-23-5600

網走営業所・遠軽営業所・紋別営業所・
釧路営業所・中標津営業所



会 員 紹 介

会員増強運動中！
～非会員に入会をお勧めください～

鉄板焼き・炭焼きの「花鳥風月」を運営 (株)アミューズキッチン



(株)アミューズキッチン(村上彰社長)が経営する「ミートファクトリー 花鳥風月」は、一昨年、現在地に移転しました。同店では、肉を中心に、海鮮など旬の食材を中心にした鉄板焼きや炭焼きを提供。焼肉メニューのほか、サイドメニューが豊富。村上社長(56)は飲食業界に入り約20年。居酒屋や「バル」(洋風居酒屋)の店長など経験を積み5年前に同店で独立しました。現下のコロナ禍の中、「今後も地元可愛される店づくりに努めていきたい」と話す村上社長。完全個室ほか、小上がり席も個室にできるように対応。新たに焼肉弁当やステーキ弁当などテイクアウトメニューを考え、近隣のデリバリーも行っています。

北見市北5条西3丁目13-1 プラザジョイフルビル1階 TEL22-2100

カフェ、洋服・雑貨販売の複合店 S Ö L

洋服や雑貨のセレクトショップとカフェの複合店「SÖL(ソル)」は昨年12月、開店5年目に入りました。店主の沼田ちはるさんは、アパレル関係の企業に勤務し東京と香港に居住し、20年ぶりに北見に帰郷して同店を開業しました。この間のキャリアが店づくりに生かされ、ショップでは、こだわりの国産ブランドの洋服や雑貨、香港で買い付けた雑貨などを展示販売。カフェ(10席)ではスタッフが店内で手作りしている「本日のおやつ」や、香港テイストも加えた他メニューと「今週のおすすめプレート」(各テイクアウト可)などを提供。

床に埋め込まれた瀬戸物のかげら、ガスマン活用のテーブルやハンガーなど「宝探し」も楽しい。目下の目標は「コロナを乗り切ること」。



北見市光葉町26-6 TEL57-5156

「会員紹介」に掲載ご希望の事業所は当所総務部(23-4111)宛ご連絡願います。(掲載：無料)

今後の予定

- 1月
- ◆18日 女性会新年例会
- ◆19日 青年部1月例会
- ◆20日 オホーツク産学官融合センター移動相談会(27日)、Googleを活用した実店舗の情報発信・集客セミナー、女性起業家セミナー
- ◆21日 日商第702回常議員会・第284回議員総会(Web)、事業承継セミナー・意見交換会、働き方改革無料相談窓口
- ◆25日 三役会、正副会頭と部会長・委員長懇談会、青色記帳指導
- ◆27日 BCPセミナー
- ◆28日 知財に関する無料相談会
- 2月
- ◆1日 オホーツク産学官融合センター事務局会議
- ◆3日 オホーツク産学官融合センター移動相談会(10・17・24日)、創業実践セミナー(4日)
- ◆8日 三役会
- ◆12日 働き方改革無料相談窓口(25日)、青色記帳指導(24日)
- ◆13日 eco検定
- ◆14日 珠算検定
- ◆15日 女性会2月例会
- ◆17日 リテールマーケティング検定
- ◆18日 オホーツク合同企業セミナー
- ◆22日 プレスリリースセミナー
- ◆26日 三役会、正副会頭と正副部会長・正副委員長合同会議
- ◆28日 簿記検定

婚カツ8年目、入籍カップル紙面に 出会いの場やドキドキ感大事

編集後記

「所報きたみ」今号では、「きたみde婚カツ」をきっかけにご入籍されたカップルのインタビュー記事を掲載しました。第1回目の婚カツが2013年。当時手探りで始めたイベントでしたが、「ついにここまで来たか」と感慨深いものがあります。

「今が充実しているので、このまま2人で過ごせたら」と語る奥様の言葉が印象的で、お二人であればコロナ禍にあっても素敵な家庭を築かれると感じました。

2020年、国内の婚姻数は大きく減少したそうです。2019年の「令和婚ブーム」の反動もあり、一概にコロナ禍の影響とは言い切れませんが、外出機会やイベントが減り、今後「出会いの場」の重要性は一層高まっていくのではないのでしょうか。

ちまたでは自分に合った相手をAIがマッチングしてくれる「AI婚活」など、新時代の婚活支援が取り沙汰されています。技術の進歩に驚く一方、気になる相手に連絡先ひとつ聞くだけでドキドキしたあの感覚も大事にしてほしいと思います。